

ゴンドラ

No.9

開館 20 周年を迎えて

当館は、平成4年11月7日の開館以来、本年で20周年を迎えました。これまで支えていただいた多くの方々に感謝したいと思います。

また、平成24年1月に、当館の近くにある鳥坂寺跡が、柏原市で4番目の国史跡に指定されました。これを記念して、歴史資料館開館20周年・鳥坂寺跡史跡指定記念企画展として、平成24年7月14日から9月9日まで、「鳥坂寺再興」という企画展を開催しました。

鳥坂寺跡のこれまでの調査成果の紹介と、大阪府教育委員会・奈良文化財研究所に保管されている出土資料の展示、それから鳥坂寺跡と関係のある軒丸瓦や塼仏について、関係各機関から資料を借用しての展示でした。この展示を見ていただければ、鳥坂寺のことが一目でわかるという展示を目指したのですが、その成果については、来館者の判断に委ねたいと思います。

開館から20周年を迎え、常設展のリニューアルなどが求められていますが、予算やスタッフの関係から困難な状況にあります。そのなかで、よりわかりやすい展示を求めて、一部で常設展の展示替えも計画しています。これからも、わかりやすく、市民に親しまれる資料館をめざしていきたいと考えています。みなさまのご協力をよろしくお願いします。



リーフレット



展示風景

企画展のご案内

◎平成 24 年度秋季企画展「水を治める一大和川のつけかえと治水ー」

平成 24 年 9 月 25 日～12 月 9 日

例年の大和川のつけかえ工事だけでなく、今回は大和川の水を制御するための水制を中心に、洪水対策、そして防災など、大和川の治水について広く考えます。

◎平成 24 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちー昔話しの風景ー」

平成 25 年 1 月 6 日～3 月 3 日

これも毎年開催しているちょっと昔の道具についての展示です。今回は、昔話や地元に伝わる民話などの紹介と、そこに登場する昔の道具を展示します。

◎平成 24 年度春季企画展「河内大橋」

平成 25 年 3 月 23 日～6 月 23 日

万葉集に詠まれた丹塗りの大橋・河内大橋とはどこに架かっていたのか、どんな橋だったのか、だれが架けたのか。これらの問題について考えてみたいと思います。

※タイトル・期間等は変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

お知らせ

◎出張展示

平成 24 年 9 月 25 日（火）から 10 月 8 日（月）まで、大阪府立中央図書館 1 階展示コーナーで、「鳥坂寺再興」と題して、市民歴史クラブが製作した伽藍模型・鴟尾模型などを中心に、鳥坂寺を紹介する展示を行います。9 月 30 日（日）には、講演会も実施します。

◎史跡高井田横穴特別公開

平成 24 年 10 月 20 日（土） 10:00～15:00 史跡高井田横穴公園

普段は鍵がかかっている横穴を、鍵を開けて公開します。そのほかに、お楽しみイベントも計画しています。

◎刊行物

・『中家文書目録』

平成 24 年に市指定文化財となった、中家文書の目録です。大和川つけかえの功労者、中甚兵衛に関する史料などを含みます。カラー写真もたくさん掲載しています。

本文 38 ページ、カラー図版 6 ページ、白黒図版 6 ページ。500 円。

・『鳥坂寺再興』歴史資料館開館 20 周年・鳥坂寺史跡指定記念企画展展示図録

記念企画展に伴う展示図録。国史跡に指定された鳥坂寺の姿を思い描けるような図録です。

オールカラー 28 ページ。300 円

・『柏原市立歴史資料館館報』24 号

本文 82 ページ、カラー図版 1 ページ。500 円。

企画展を終えて

★平成 23 年度秋季企画展「大和川の風景」

平成 23 年 9 月 20 日～12 月 11 日

観覧者数 11,305 人（個人 1,978 人、団体 9,327 人）

★平成 23 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちーあかりー」

平成 24 年 1 月 7 日～3 月 4 日

観覧者数 2,013 人

（個人 1,120 人、団体 893 人）

★平成 23 年度春季企画展「中甚兵衛の生涯」

平成 24 年 3 月 24 日～6 月 24 日

観覧者数 2,594 人

（個人 1,358 人、団体 1,236 人）

★平成 24 年度夏季企画展「鳥坂寺再興」

平成 24 年 7 月 14 日～9 月 9 日



春季企画展展示風景

出前講座

当館では、年間数回の出前講座を実施しています。これまでは、地元の自治会や市民団体への講演会や講義が多かったのですが、最近はさまざまなかたちの出前講座を行っています。この 1 年間でも、保育園での綿の話しと体験学習、老人介護施設での回想法の実践、大学における市民協働プロジェクトとしての綿の話しと体験学習など、さまざまな講座を実施しました。保育園児らには、いかに興味を引き付けるかが課題となり、大学生らとの共同も楽しいものです。そのなかで、初めておこなった回想法の実践について紹介しておきたいと思います。

回想法とは、民具などを使って高齢者の過去の記憶を刺激し、認知症の治療や予防に利用するという方法です。今回使用した民具は、洗濯板とたらい、電気アイロンと炭火アイロンと火熨斗、そろばん、石臼、蓄音機でした。最後の蓄音機では、全員そろっての手拍子などもみられました。ただ、個々人の症状や性格などは、私たちには理解できないため、介護者の協力が必要となります。課題はまだまだあると思いますが、ぜひまた実践したいと思っています。



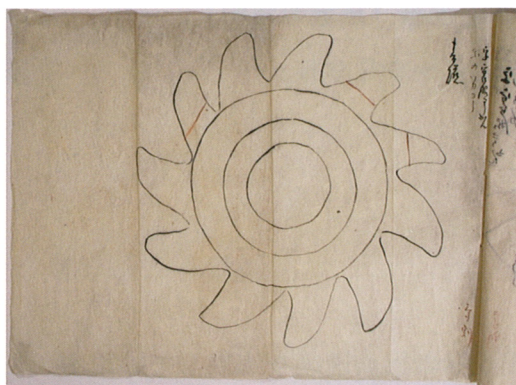
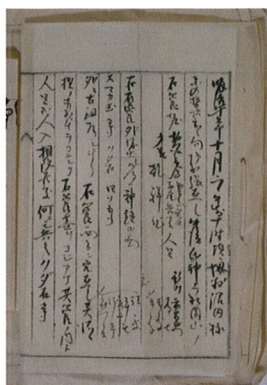
回想法の講座

新収資料の紹介

平成 23 年 10 月に、柏原市国分本町の堅山家から、古文書や民具を多数寄贈していただきました。その中にあった、税所篤が松岳山古墳群を発掘した顛末書について紹介したいと思います。

この書は、大正 5 年（1916）に梅原末治氏によって紹介されたものですが、その後、所在が確認できなくなり、今回約 100 年ぶりに再発見されたものです。内容は、明治 10 年（1877）に、当時堺県令であった税所篤の指示により、松岳山古墳およびその東にあった小古墳 2 基が発掘された経過を記録したものです。この記録には、出土した遺物のスケッチも添付されており、当時のことを知るうえで重要な史料です。

歴史資料館では、以前からこの記録を探索していましたが、このたび堅山家の家屋が取り壊されることになり、事前に家屋内に調査に入らせていただいて、持ち帰った史料のなかに確認できました。詳細は、館報 24 号に掲載していますので、ご覧ください。このような埋もれた貴重な史料の発見は、柏原市にとってたいせつなことです。堅山家の方々をはじめ、ご協力いただいた方々に感謝するとともに、今後も、埋もれた史料の発見・保存に努めていきたいと考えております。



堅山家文書



－ひとこと－

ゴンドラ第 9 号をお届けします。当館は無事に開館 20 周年を迎え、開館以来の延べ入館者は、約 40 万人となりました。隣接する史跡高井田横穴公園とともにオープンしたころのことが、昨日のように思い起こされます。施設は老朽化し、常設展示も大幅なりニューアルができませんが、いつも新鮮な気持ちで各種の事業に取り組んでおります。おかげさまで、資料館の活動も徐々にではありますが、広がってきております。市民とともに取り組む機会もずいぶん増えました。今後も、柏原市にとって、市民にとって意義ある資料館であるべく、努力してまいりますので、みなさんのお力添えをお願いしたいと思います。（Y）

柏原市立歴史資料館

休館日 月曜日（祝日でも休館）、年末・年始

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分 入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田 1598-1 TEL 072-976-3430